

さとしゅう

議会だより

No.86

2016.10.31



岡山県 里庄町議会

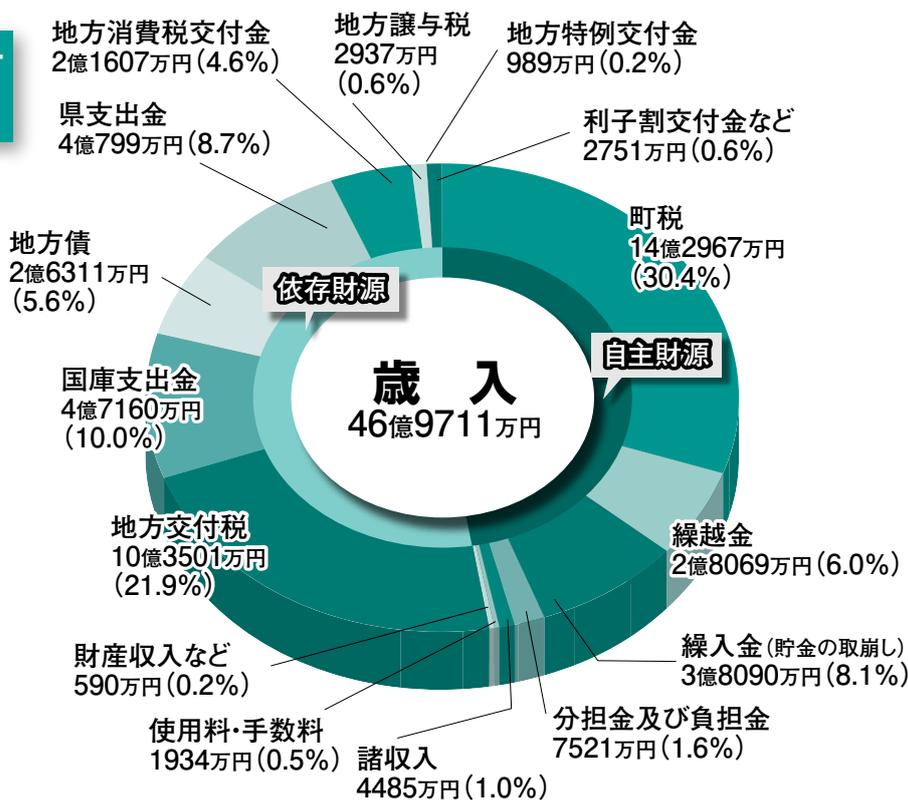


- 平成27年度決算 この様に使われたみなさんの税金 …………… (2)
- 資源ごみ収集庫設置の目的、場所 (平成28年度補正予算質疑) …………… (8)
- 6月の大雨による災害復旧事業に8100万円 (8月臨時会)…………… (12)
- 小中学校の全教室にエアコンの設置を (一般質問)…………… (14)
- シリーズ “地域の子どもたち” (大原中子供会) …………… (20)

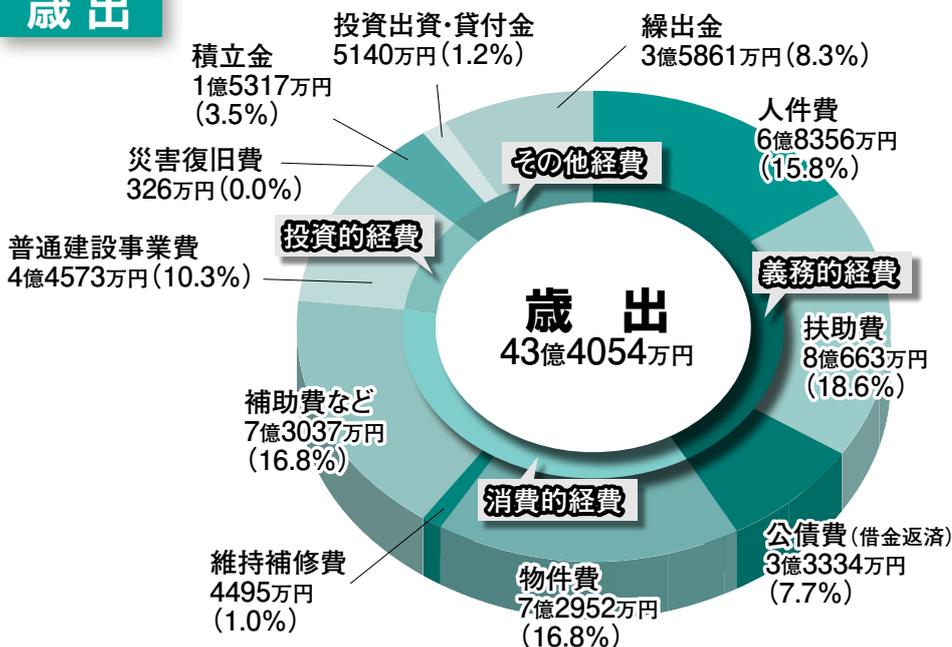
定例会

みなさんの税金

普通会計 歳入



普通会計 歳出



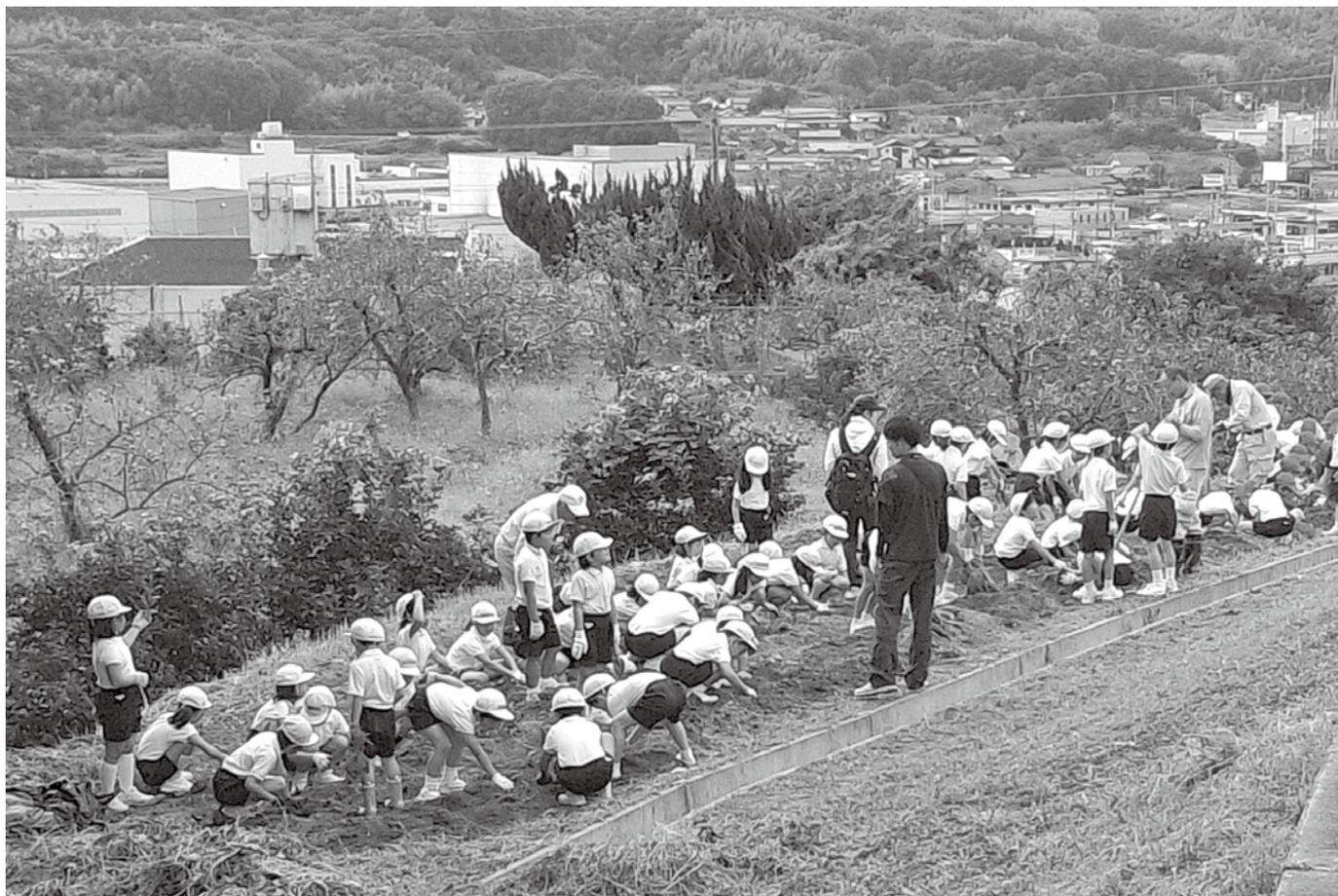
平成28年第4回定例会は、9月2日から16日までの会期で行われました。議案は、平成27年度会計決算9件、平成28年度補正予算8件、条例の一部改正1件、教育委員会委員の任命2件、町道路線の廃止・認定各1件、報告・陳情・発議各1件が上程され、原案どおり可決・承認されました。

なお、一般質問は、6人の議員が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。



この様に使われた

全議案を可決承認しました。



東小児童の芋掘り体験

会計別決算状況 ■■■ 平成27年度も全会計が黒字

会計区分		歳入	歳出	差引
一般会計		47億157万円	43億4,555万円	3億5,602万円
特別会計	国民健康保険	14億6,589万円	13億3,300万円	1億3,289万円
	育英奨学資金給与	25万円	0万円	25万円
	介護老人保健施設	3,866万円	3,674万円	192万円
	介護保険	8億9,972万円	8億9,089万円	883万円
	後期高齢者医療	1億4,633万円	1億4,623万円	10万円
	町営墓地	407万円	377万円	30万円
公営企業会計		収入	支出	差引
水道事業	収益的	2億9,387万円	2億6,613万円	2,774万円
	資本的	2,994万円	1億1,861万円	△8,867万円
公共下水道事業	収益的	3億4,312万円	2億8,205万円	6,107万円
	資本的	5億3,879万円	8億3,552万円	△2億9,673万円

平成27年度の 主な事業内容

- ・定住促進推進のため定住フェアに参加(4回)
- ・結婚支援で、企業コン、カップリングパーティを実施
- ・着ぐるみ作成、まこもたけフェアの開催、スタンプラリー実施で、まこもたけ広報の実施
- ・防犯パトロール用車両・機材を整備
- ・住基システム(マイナンバー)に対応
- ・高齢者タクシー料金助成券の交付(151件)
- ・防犯灯の設置・修繕実施(新規17基、修繕5基移設30基)
- ・福祉会館の空調機・照明の更新
- ・かすみ保育園園舎増築等整備に対する助成

- ・地籍調査、0.59平方キロメートル実施
- ・消防機庫の新設(第11部)



- ・小、中学校に各1人の外国人英語指導助手を配置
- ・生活支援員と小・中連携支援員を、幼稚園、小学校、中学校にあわせて24名配置
- ・西小学校の非構造部材耐震補強工事を実施
- ・中学校プールの循環ろ過装置の改修
- ・駅北県道上の歩道橋の塗装工事

- ・中学校3年生までの医療費を負担
- ・予防接種、各種検診等の実施
(特定検診、後期高齢者検診、肝炎ウイルス、肺がん、胃がん等)
- ・乳幼児健康診査、不妊治療等母子保健事業の実施
- ・ごみ減量化とリサイクル推進
- ・手の際農道工事の実施
- ・道路改良工事の実施(林地区、安広地区、岩村地区等)



町の借金と貯金(平成27年度の状況)

平成27年度起債額(借金) 4億8711万円
一般会計の基金(貯金総額) 26億9193万円

- ・一般会計 2億6311万円
- ・下水道事業会計 2億2400万円
- 財政調整基金 7億2843万円
- いきいき里庄基金 1億円

平成27年度公債費(元金償還金) 4億4460万円
地域振興基金 5847万円

- ・一般会計 2億8960万円
- ・下水道事業会計 2290万円
- 減債基金 6億9485万円
- ふるさと保全基金 1億7197万円

- ・下水道事業会計 1億3210万円
- 文化振興基金 4億4294万円

平成27年度末起債残高※ 71億7451万円
スポーツ振興基金 1億100万円

- ・一般会計 34億7012万円
- ・水道事業会計 1億3877万円
- 教育施設整備改修基金 1億6479万円
- 土地開発基金 1億302万円

- ・下水道事業会計 35億6562万円
- 環境整美基金 5038万円
- 古山基金 1008万円

※元金償還金のうち、概算41億円が地方交付税に算入される見込み。

※端数処理をしているため、合計額が一致しない場合がある。

決算

平成27年度一般会計決算を中心に4人が総括質疑を行いました。
その後、予算決算委員会に付託審査しました。
本会議で、全議案を可決・承認しました。

総括質疑

適正かつ効果的に執行されたか

眞野議員 ①一般会計について、①平成27年度の単年度収支及び実質単年度収支はいくらか。

的に執行されたか。發揮した行政効果は。今後の行財政運営改善の工夫は。

②基金が2億2772万円減り、26億9100万円になっている。毎年2億円を超える減少。

総務課長 ①①単年度収支6761万円、実質単年度収支1342万円。②この10年間、ハード面ソフト面とも充実した事業ができた。

このペースだと、あと十一、二年でなくなる。どう考えるか。

今後、財源が必要なる事業がめじる押し。

③町債の増減と支払利子の額は。

事業の取捨選択や消費的経費の削減、起債の活用等で、基金の取り崩しを抑え、バランスのとれ

②特別会計の借金、基金残高の状況は。

事業の取捨選択や消費的経費の削減、起債の活用等で、基金の取り崩しを抑え、バランスのとれ

③予算は、適正かつ効果

を抑制、バランスのとれ

特別会計の借金・基金の状況

	会計名	期末残高
借金	水道事業	1億3876万円
	公共下水道事業	35億6562万円
基金	国民健康保険特別	7997万円
	介護老人保健特別	5億8587万円
	介護保険特別	1億6504万円

た財政運営に努めたい。
③元金返済2億8960万円、新たな借入2億6310万円で、差額の2649万円は借金の減。支払利子額は4374万円。

町長 ③おおむねうまく効果は發揮していると思う。人口は余り減らず、子供は少し増えている。一番難しいのは、職員の意識改革。基金は減っていく中、やらなければいけない事業や町民の要望はいっぱいあり、苦慮しているが、財政的負担を分散したり、補助金や起債を使い、必要なものはやっていく。以前に、基金が25億円ぐらになっただけでブレキと言った。その辺を考えたながら、精一杯やりたい。

税の滞納、許してはならない

岡本議員 ①軽自動車税の、現年分中の収入未済25万円、滞納繰越分中の収入未済70万円、不納欠損分11万円について、車両の内訳と未納の理由は。税の公平性から、滞納は絶対許してはならない。どのような対策をとっているか。

①バイク税未納者にはプレートを返却してもらおう。
②滞納者の町外転出時には、納税しないと転出届を受理しない。
以上を提案する。
②平成27年度時間外勤務がずば抜けて多かったのが企画商工課で、4人の対象者が2537時間。次が町民課で、10人で2489時間。
課長は、どのような方法で職員の職務内容を把握しているか。
時間外勤務を無くする施策として、どのような

方法を考えているか。
庁内でプロジェクトチームを作って仕事をすれば、突出した課の時間外は無くなるのでは。
町民課参事 ①滞納者には、督促状、催告書を送り、10日以内の納税を促す。
これで納税がない場合は、法律に従い財産処分等の対応をとっている。
①できることで努力する。
②住民担当との連携はとっている。

総務課長 ②毎週水曜日のノー残業デー、人事考課での目標設定や中間・期末の面談がある。
ワーク・ライフ・バランスをうたった特定事業主行動計画もあり、その中で各課長は考えている。
職員が、業務の中で改善や効率化を重ねていくことも一方策。
現在検討中の行政改革

決算総括

大綱の中でも、プロジェクトチームや機構改革も検討したい。

副町長 ② 時間外勤務は、職員が課長に申請し、課長が必要と認めれば、私の最終決裁を求めてくる。課長は、職員の健康と全体的な課の事業の内容を勘案しながら、判断。

不要額が補正以上に出るのはなぜ

高田議員 ① 住宅使用料の収入未済額は、どのような対策をし、こういう結果になったのか。努力はしたか。

② 不動産売却収入は89万円。何を売り、単価は適正か。

③ 貸付金元利収入の収入未済額は。

④ 補正をしたにもかかわらず不用額が補正以上のところが多々ある。不用になる前になぜ減額補正をし、必要などところに回さないのか。

⑤ 土地・建物の増えたと減ったとこの内容は。

長が必要と認めれば、私の最終決裁を求めてくる。

課長は、職員の健康と全体的な課の事業の内容を勘案しながら、判断。

農林建設課長 ① 過年度の分の額が多く、現年分は少ない。

定期的な伺い、過年度分も回収できるように努力している。

② 廃道の払い下げ案件がほとんどである。

④ 道路維持では、地元と調整できず、年度を越えたものがある。繰越の手続きもしてなかったため、不用額となった。

町民課長 ③ 昭和50、60年代ごろ住宅資金の貸し付けをしている分であり、亡くなっておられる方が多い状況。

今現在は、2名の相続人を探し、納付してもら

っている。

その他も調べたい。

総務課長 ⑤ 学校、道路、公園その他の増加、及び山林その他の減少は、国土調査に伴うもの。

建物のその他の施設の増加は、固定資産台帳の整備によるもの。

副町長 ④ 多額の不用額を出すのは、適正な処理

と言えない。

平成29年度の予算等に反映させていく。

その他の質問
・ 総務債の収入未済は
・ 消防積載車とポンプの台数の違いは

町の帳尻はほとんど底を叩くところ

仁科英議員 ① 決算収支について。

① その他の基金の積み立て、取り崩しを考慮した再収支は。

② 一般会計、水道、下水道の基金（貯金）総額と起債（借金）残高は。

③ 交付税算入を除いた純粋な借金残高での比較は。

この最終的な帳尻は、去年に比べいくらか減ったか。この七、八年では。

全員が取り組まなければいけないし、町長は号令をかける時期では。

② 固定資産台帳は、完全に整備されたか。

公会計制度の導入の作業状況は。

③ 介護老人保健施設特別会計について、雑入が103万円増えているが、これは何か。

指定管理者からの納付金だとしたら、去年の9月時点でこれで固まりということでは組んだはず。なぜ増えたのか。

総務課長 ① ① マイナス1億6010万円。

② 基金残高は31億円、起債残高は71億円。

③ 起債に対する交付税算入額41億円を引いた最終的に町の負担となる純粋な借金総額は30億円。

少。

② 平成27年度に完成した。公会計制度は、来年度から導入できるように作業を進めている。

③ 決算の結果、追加納入額がそれだけあった。

町長 ④ 企業誘致は、努力はするが、慎重さも必要で、簡単にはできない。

エアコン、ALT、耐震補強、教育、安全、いろんなことを考え、優先順位を決めて、国、県の補助をもらいながら、必要なものをやる。

このペースでいったらどうなるかという危惧はある。ストップできるものはストップする。バランスを考えながら、状況を見ながらやりたい。

その他の質問
・ 高齢者タクシー料金助成券の財源
・ 自主防災組織活動補助金の財源

予算決算委員会

委員長報告

眞野委員長

予算決算委員会は、9月12日、13日、14日及び16日の4日間開会し、27年度決算について、予算は適正に執行されたか、どのような行政効果があったか等、慎重に審査しました。

一般会計

- ・審査の中で、
- ・町税は、町民の納税意欲を阻害しないよう、引き続き徴収率の向上に取り組んでほしい。
- ・補正で増額したのに多くの不用額が出ている科目がある。何故か。
- ・時間外勤務が特定の課で突出しているのは問題。今後、速やかな改善が必要。
- ・文化ホールの活用が十分でない。

委員会

自主事業の内容はもとっと充実できないか。

- ・基金を前年度に続き2億円以上崩している。
- ・経費の削減や補助金・起債の活用を言うなら、実行に移すべき。

介護老人保健施設特別会計

- ・工事100万円未満、備品購入30万円未満のものは指定管理者が負担する、との取り決めに反するものがある。等の意見が出ました。

採決の結果、介護老人保健施設特別会計については賛成多数で、その他の会計については全会一致で、認定すべきものと決しました。

ここが反対！

介護老人保健施設特別会計

公費での甘い負担は、慎むべき

仁科英磨議員

100万円未満の修繕と30万円未満の備品購入は、協定上、萌生会の負担で、排水工事24万円と屋根の修繕16万円、冷凍庫購入25万円の町負担は、協定違反。

公費での甘い負担は、慎むべき。

萌生会からの納入金額が、決算で突然103万円の増。

萌生会の決算が6月以降で変わることは考えられず、説明に偽りがあるように思える。

収入の入力ミスも、緊張を欠き、問題。



力強く、前へ前へ！

町道路線の廃止・認定

建設福祉委員会で審議

委員会に付託された2議案を、9月2日に審議しました。

現地を確認するとともに、担当職員から説明を受け、慎重に審議しました。

廃止路線については、払い下げ価格はどうなっているのか。

認定道路については、階段部分を自転車を通れるように改善すること等、町の見解をいただきました。審議の結果、大原西地内の里見36号線は、町道として機能していない状態であり、全会一致で廃



大原西地内の廃止路線



国道2号線上の認定道路(歩道橋)

止と決しました。駅前と宮地を繋ぐ国道2号線上の歩道橋は、町道だと補修時の費用に、国から55%の補助が受けられる。従って町の経費軽減が見込めるため、全会一致で認定と決しました。

補正

平成28年度補正予算8件は、すべて原案どおり可決しました。
 質疑は、一般会計5人、介護老人施設特別会計1人が行いました。

質疑

一般会計

資源ごみ収集庫を常設する目的、場所等

岡村議員 ①資源ごみの回収は、各分館、幼・小・中学校のPTA、分館によっては常設の回収庫で行われている。
 今回収庫を常設しようとする経緯と場所は、これまでの回収方法は変わるのか。
 ②企業から排出される資源ごみの量は、

町民課長 ①常設の収集庫があれば、資源ごみの排出増を期待でき、8月の廃棄物減量等推進審議会でもその意見が出た。役場、東公民館及び西公民館の駐車場に、既製品の設置を想定。施設せず、常時開放の予定。
 ステーションでの収集は、今までどおり。
 ②多くの企業は、ごみを出さない、資源ごみはリサイクル業者に個々に連絡する等、独自にやっている。

補正予算で上がってくるべきものか

眞野議員 ①資源ごみ収集庫の設置は、なぜこの時期なのか。
 ②里庄駅前広場等整備基本構想作成業務委託料278万円は、どういうもので、目的、委託先は、年度の事業は、当初の段階で計画して予算化するべきもの。事情が変わったからといって、補正でどんどん上がってくるべきものではない。

眞野議員 ③電柱の移設費400万円の加算で、674号線の事業費は総額いくらになるのか。
 光ファイバーが入って

いることは、最初から分かっているはず。電柱を仮移設することになった理由は、
 一般に、電柱を移す工事は1回で済ませられる。今後、工事のたびに、事情が変わったから増額になると言われても、分かったとは言いにくい。
 町長の考えを。

町民課長 ①平成26年度に策定したごみの減量化計画の目標は、5年内の家庭ごみ10%削減。
 27年度は、1年間広報活動をを行ったが、0.9%しか減らなかった。

それで、カンフル剤的な取組みが必要となった。
農林建設課長 ②当初予算570万円でJRコンサルに委託しているが、協議の中で、駅前広場の施設数や面積は、将来予測に基づき算定が必要と指摘された。
 駅の利用形態や交通量の調査は職員での実施を見込んでいたが、業務内容、災害の関係等で、自前ではできなくなった。
 JRに追加委託したい。

舖装工事、交差点から北側への取付け道路の発注後、総額を説明したい。
 当初光ファイバーを落としたのは、見込みの甘さで、申しわけない。
 具体的な工事計画の中で仮移設が必要になった。今後は、電柱移設等ができるだけきちっと積算するが、どうしても変わることと理解いただきたい。

町長 ①一向に減らないので、私が、今補正をと、させてもらった。

②当初考えていても、事業を進める中で、相手があつて、やはりたくさん出る。
 これでは事業がもう進まないの、対応したい。
 ③最初の見積りが悪かった。
 工事をする中でいろいろな支障が出てきて、特に土木工事では、増額予算とか追加はよくあること。ご理解よろしく。

その他の質問
 ・共済費負担率変更の前後は



マキサヤ遺跡(干瓜)の出土品

里庄駅エレベーターの見直しは

仁科英議員

① 今回の大雨災害が激甚災害に指定されたのはいつか。

農地農林だけか。公共土木も局激にはなったか。激甚になると国庫補助

が上がる。後で補正がある、分担金は少なくなるということではないか。

② 有価証券売却収入619万円の内容は。

なぜ短期売買したのか。里庄町が現在保有している有価証券8億円はど

ういうもので、どこから買い、どこの金融機関に管理を預けているのか。

③ 岡山コンベンションセンターでのフェアへの出店・PRの経費。

・需用費の内容は。
・収入25万円は何か。
・差引き町の持出し額は、それだけ使ってフェアに参加する意義は。

も広まってきた。

1カ月後に町村フェスティバルが後樂園である。今回も出店したい。

マコモは、キロいくらで、仕入先は。

④ 里庄駅エレベーターの実現の見直しは。

総務課長

① 農地農林は本激に指定（8月15日に閣議決定）された。

公共土木は、全国で6箇所が局激に指定されたが、本町は該当しない。

国庫のかさ上げ等は、確定次第補正計上したい。

③ 需用費33万円は、販売用のマコモ購入費15万円、地域の特産品購入費10万円、試食用材料費5万円など。

25万円は、マコモ売上金15万円、特産品の主催者側買い取り10万円。

その他、広告費も含めた参加負担金32万円、人件費2日間で13万円があり、それらの差53万円が町の持ち出し。

昨年岡山のフェスティバルに参加し、マコモ

キロ1500円で林地

区の生産者からの購入を考えている。

会計管理者

② 文化振興基金を運用したもの。

政府保証債利率0・461%の商品で、3月16日に購入した額面2億

分を6月29日に売った。6年以上の利息が売却益として上がるため。

政府保証債4億円、地方債2億円、国債2億

円で、証券会社からの提案書により、町長の決裁で

購入・売却している。

預け先は、購入先の証券会社。

農林建設課長

① 農地と農業施設合わせて3件が

さ上げされる。

④ 利用者3000人未満でも認められることがある。

基本構想を持ってJRと協議し、お願いしていきたい。

駅前広場、JRのコンサルに丸投げか

岡本議員

① 資源ごみを置くところを作っても、資源ごみ、燃えるごみ、燃えないごみがなぜ一緒

になっていないか解決しない限り、無駄だと思う。そういう検討をしたのか。

回収処理に係る職員の年間の所要時間は。

費用対効果を考えないでつくる、町長の考えは。

② 駅前広場は、JRのコンサルに丸投げするのか。

事業の総額、工期は、どれくらいか。

③ 西幼稚園の生活支援員賃金を、なぜこの時期に補正するのか。

④ 国からの地方創生加速化交付金3000万円。

昨日、町長は1500万円で十分だったと言ったが、では、なぜこの9月議会で減額補正しないのか。

町民課長 ① 近隣市町で

ストックヤードを設置している事例も聞いていた

ので、設置したい。

3カ所を2人が週に1回2時間程度で回る。年間200時間程度は必要。

収集が増えれば、委託も考えたい。

一部事務組合の負担金がいくら安くなるという形では、反映してこない

と思う。

PRその他の施策を実施することが重要と考える。

農林建設課長

② 町の考えは、委託するときに分話をしている。

今の時点では、総額、工期は言えない。

早目に協議が調うよう進めたい。

教委事務局長

③ 6月に担任教諭が退職したので、園児の生活支援、園長代理業務等を行う人を1名採用する。

副町長 ④ 8月の中旬に、交付決定があったので、事業の着手が遅くなった。

最少の経費で最大の効果をあげるよう努力する。執行残が出た場合は、減額補正を考える。

加速化交付金は、今回は提案されていないので、了解願いたい。

町長 ① 計画から2年たった現在、全く減らない。

減量化に携わった先生に非常に効果があると言われたので、すぐできることをやりたい。

④ 申請して、全部認められたので、精いっぱいやる。

ここですぐ減額はできない。

※1 激甚災害(本激) 全国規模で、国が指定する災害で、東日本大震災をはじめ、鬼怒川洪水災害など、例年数件が指定されている。

※2 局地激甚災害(局激) 市町村単位で、国が指定する災害。

墓地会計は独立採算でやるべき

高田議員 ①町営墓地への繰り出し金について、

本来、特別会計は独立採算でやるべき。

来年度予算がついたら、一般会計に戻すのか。

考え方の根本を尋ねる。

②新設のごみステーションは分別するのか、どういう方法でするのか。

管理はどうするのか。

③里庄駅前広場整備、国JR等に補助3分の2してもらうためには、努力が要ると思う。

JRや国に働きかけないと対象にならないのでは。具体的にどのような働きかけをするのか。

町民課長 ①使用者が負担する管理料で墓地が運営されるのが原則。

しかし、今後は、補修費等の発生も考えられる。

今回は一般会計へ返さない。

②地元のごみステーションと同じ分別を考えている。

週1回程度は回る必要があると考えている。

異常時には、町へ連絡をもらい職員が対応する。

どうしてもいけないなら、鍵をつける、時間を制限する、防犯カメラをつけるなど考えたい。

農林建設課長 ③今は資料づくりの段階。

これから要望をJRへ働きかけていきたい。

駅前広場は、駅構内のバリアフリー化の事業とは別事業だが、あわせて話をしていけば、納得してもらえる可能性がある。

その他の質問

・東幼稚園の給与の減額は

介護老人保健施設特別会計

追加納入金は、最終確定の額か

仁科議員 協定に基づく追加納入金687万円は、最終確定の額か。

いつ、どう確定をするのか。病院の理事会は、町の確認は。

総務課長 決算報告を精査した。担当も病院へ出ていて帳簿の精査、確認をしている。

さらに、病院から副町長、町長、協議会等でも説明し、承認を得ている。今年の額は変わらない。

8・9月補正の結果

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計(3号)	45億5511万円	(1200万円)
一般会計(4号)	45億7311万円	(1800万円)
一般会計(5号)	46億3674万円	(6363万円)
一般会計(6号)	47億8665万円	(1億4990万円)
国民健康保険特別	14億1670万円	(5646万円)
介護老人保健施設特別	4010万円	(978万円)
介護保険特別	9億4568万円	(797万円)
後期高齢者医療特別	1億4998万円	(4000円)
町営墓地特別		
水道事業会計		
収益的支出	2億9182万円	(9万円)
資本的収入	1879万円	(3万円)
資本的支出	1億230万円	(7万円)
公共下水道事業会計		
収益的収入	3億3982万円	(405万円)
収益的支出	3億1206万円	(405万円)
資本的収入	3億2809万円	(△451万円)
資本的支出	4億6913万円	(△451万円)

動議

岡本議員から、町長及び副町長に謝罪を求め、賛成多数で成立しました。

岡本議員は、

としました。

①町長が、一般質問の答弁で、地方創生加速化交付金に関し、「3000万円あるんだったら、1500万円私に頂戴と、そして自由に使わせてください」と。ま、これ冗談半分と言っただけで、と発言したことを、問題と答弁したことを、「私に対する侮辱か、議会に対する愚弄か。」としました。

町長からは、

①「説明が足らなかつた。1500万円私の自由裁量になれば、マコモ田の草を取る機械、トイレ、休憩所等をつくりたい、そういうことで私は言った。」と、

副町長からは、

②「気分を害するような発言があったことは、おわびする。」と、謝罪がありました。

一部改正

里庄町分担金徴収条例の一部改正

改正の主な内容は、農地災害復旧事業についての、受益者の分担金の軽減です。

事業費から国、県の補助金を除いた額に対する分担金の徴収率

現行

2分の1

←

改正後

現年度事業

100分の10

過年度事業

100分の20



岩村農地の土砂崩れ

質疑

今、分担率をこう改正する理由

仁科英議員

①今、こう改正する理由の説明を。

②「…額の範囲内において町長が定める。」と、あわせて改正する理由は、
③町長が恣意的に率を決める意味ではない、と理解してよいか。

総務課長

①この事業の補助の残りには、元利償還費の95%が交付税に算入される災害復旧事業債が、現年分はその90%に、過年分は80%に充当でき

る。そのため、現行の条例

農地は民地も全て対象になるのか

高田議員

①この条例は、農地は民地も全て適用になるのか、条件があるのか。

総務課長

①民地も含むが、ある程度規模の大きなものだけ。

②今回の災害で、町内で

勾配が急で、面積が小

により、受益者にも2分の1負担してもらおうと、収入がダブる。

国からできるだけ多くもらい、町民の負担は軽くしたい。

②その外に交付税措置のある起債を充当できる事業が出てきた場合、分担率を下げる必要がある。そうした場合に限り、率を調整するため。

③そのとおり。

大きく、収益が少ない農地は、国費を入れる農地災害としては認められない場合が多い。

要件は、雨量が時間20ミリ、日80ミリ以上の災害で、安定傾斜度20度以下、販売実績がある等

②岩村の農地1件。

人事

教育委員会委員の任命

継続して適任者を再任。

里庄町大字里見

9283番地1

定兼 正明氏

任期 3年間

(平成28年10月1日～平成31年9月30日)

里庄町大字里見

265番地1

三吉 俊郎氏

任期 4年間

(平成28年10月1日～平成32年9月30日)

質疑

任期3年の発令の仕方は

仁科英議員

議案には書かれていないが、1人は任期3年という説明だった。

教委事務局長

委員の任期満了の日が特定の年に偏らないようにするという特例があり、それで3年にしている。

法律では原則4年になっていると思うが、発令行為等はどうかなのか。

今回の措置で、4人は

どうなるのか。

総務課長

辞令で期間を定めて交付する。

臨時会

8月8日に臨時会が開かれました。議題は、専決処分の報告2件と、一般会計補正予算1件で、いずれも可決・承認されました。

専決四号質疑

専決処分の報告

補正予算(8月8日)

(7月7日専決三号)

(一般会計補正5号)

(一般会計補正3号)

東小児童クラブ2号舎

過誤納還付金・加算金

地盤改良工事費

1200万円

1300万円

(7月29日専決四号)

東小施設改修工事費

(一般会計補正4号)

△1300万円

災害復旧費

災害復旧費

(応急工事費18カ所分及び測量設計委託料)

(工事費40カ所分等)

1800万円

6363万円

6月の大雨による災害復旧事業の箇所・予算額

	箇所	事業費	財源
農地・溜池・農道・林道	岩村農地	740万円	国補助等 一部受益者負担
	野宮奥池 妙見池	780万円	国補助等
	林道虚空蔵清水線	240万円	地方債(交付税)のみ
	林地区外8カ所	1660万円	町単独
	小計(12カ所)	3420万円	
町道・河川・水路	松尾 高岡町道	680万円	国補助等
	大西 才申 西の平 岩村町道	1690万円	地方債(交付税)のみ
	西の平地区外22カ所	1110万円	町単独
	応急対応18カ所 (一部農林を含む)	1200万円	町単独
	小計(46カ所)	4680万円	
合計(58カ所)	8100万円	(含)設計料15カ所600万円	

その他に、臨時職員賃金63万円を計上している。

なぜ10日前に専決したのか

仁科英議員

①災害後1カ月以上も経っている。今になって専決した理由は。設計も、一週間でも早く発注したかった。

②予備費1000万円等がある。今日の補正で十分だったのでは。

清算で予算を越える分は、支払を10日間待って

もらえたのでは。

③委託費、全て40万円

15カ所の積算は。

④工事費1200万円の金額は、どう決めたか。

⑤もっと早く臨時議会の開けたのでは。

農林建設課長

①応急工

事費の取りまとめに時間を要したが、少しでも早

副町長

①7月末で、世

話になった業者と委託関

係に払う必要があった。

②予備費は、他にも必要

なものがある。今後出てくる

⑤工事箇所などに、仕分けや整理が必要だった。

急ぐなら、臨時議会を早く開くべき

高田議員

①専決はやたら使うべきでない。支払を1カ月、2カ月待てない業者は1社もない。

なぜ10日前に専決しなければならなかったのか。

②昭和の終りの大災害でも、設計委託を専決でや

ったとは聞いていない。

委託を急ぐなら、臨時

議会をなぜ早く開けなかつたのか。

①一旦精算と

いうことで、まず専決処

分し、その後この臨時議

会の開催が決まった。

②通知してから1週間か

ら10日要るが、もっと短

期間でもできる。

今後は十分説明する。

ここが反対！

これはやっぱり議会軽視

仁科英磨議員

もう1カ月以上経ち、大体整理できたのなら、専決でなく、議会で議決すればよい話。臨時議会は何回開いてもいい。

何回聞いても、専決の理由がきちっと説明できない。

これはやっぱり議会軽視だ。

専決処分は、地方自治法でも、議会が成立しない時と議会を招集する時間がない時にしかできないことになっている。

法律違反の処分は承認できない。

補正予算質疑

分担金の率を至急改正すべき

仁科英議員

①財源に、繰越金3868万円とあるが、使える繰越金はこれだけ残っていないのでは。

②国・県の補助金が計上されていない。計上しておくべきでは。

③災害復旧事業の対象にするものではないものは、どういう考え方で整理されているのか。

国の対象外でも、緊急避難や救助のためなど、町としてやらなければならぬものもある。

そこをきっちり明らかにして、公正公平に住民に対応していくべき。

町長の考えを問う。
④農地災害復旧事業の分担金175万円の積算根拠は。

国の考え方は、補助5

賛否状況

公共土木施設は、道路等。補助対象は幅2m以上。1.5mも起債の対象にはなる。

国・県で災害と認められなかったものでも、道路、池等どうしても補修が必要なものは、町費で直すことになる。

個人の畑、土地は、町費での対象にはならない。
④現在の里庄町分担金徴収条例により、事業費から国の補助金を控除した額の2分の1としている。

総務課長

①9月の補正で国庫補助金等できちつと調整できる。問題ない。

②これから査定があるの

で、確定後計上の予定。
④勉強不足、準備不足があった。

指摘のとおり、町・地元

に不利益が生じないよう、速やかに善処する。

農林建設課長

③農林水産施設は、池、水路等。

農地は、保全の必要がある民地1件。



松尾町道の崩壊の状況

その他の質問
・起債2300万円の利率

議決一覧

○…賛成 X…反対 退…退席 欠…欠席

議案名	議員名	高田卓司	岡本雅道	岡村咲津紀	小野光三	眞野博文	仁科英磨	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三	議決結果
臨時会	議案第38号 専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第39号 専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	X	○	○	○	承認
	議案第40号 平成28年度里庄町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9月定例会	議案第41号 里庄町分担金徴収条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第52号 平成27年度里庄町介護老人保健施設特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	X	○	○	○	認定
	議案第59号 里庄町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第60号 里庄町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第61号 教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第62号 教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	報告第4号 平成27年度里庄町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	陳情第1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の要請について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
発議第1号 教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

※ その他の28年度補正予算と27年度決算は、全会一致で可決・認定しました。

※ 議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

一般質問

町政を問う

町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

※原稿は質問者が作成しています。

小・中学校の全教室にエアコンを

町長／西小学校から順次設置する



岡村咲津紀 議員

問 町内の各学校の教室内温度の測定状況は。エアコンのない高温の教室で学ぶ子供たちはいつ熱中症になってもおかしくない事態と言える。生徒の体調管理という観点から、今の現状の学習環境が適切なのか、適切でないのか。

全教室のエアコン設置に向けて今後どのように取り組むのか。

られている。それ全ていいかというところ、そういうことではない状態もある。

エアコンのない高温の教室で学ぶ子供たちはいつ熱中症になってもおかしくない事態と言える。生徒の体調管理という観点から、今の現状の学習環境が適切なのか、適切でないのか。

教委事務局長 各学校教室の7月の最高温度は、東小学校が34度、西小学校が37度、中学校が37度であった。

町長 今後計画的に小・中学校の全ての教室へエアコン設置を進めていきたい。

里庄町の将来を担う子供たちの学習環境を整えることは重要課題である。

教育長 室温が30度を超える測定結果であるが、扇風機の設置などで体感温度が低く抑え

特に室温が高い西小学校を30年度に、続いて31年度に東小学校、32年度に中学校の整備を行いたい。

交通安全対策の強化を

農林建設課長／速度制限等を警察へ要望

学校の制服購入は地元業者で

教育長／保護者の理解を得る工夫を

問

幼・小・中学校の制服購入について、地元企業の実業・支援に自治体は協力すべきである。教育長として、どのように考えているのか。

教育長

どうしても地元の業者から買って下さいとは言えないが、町の振興等のためにも、保護者の理解を得るような工夫をしてほしい。

問

町道229号線で7月、中学生の死亡事故が発生した。制限速度の設定や、信号機の設置、交通取り締まり等の強化など、交通事故撲滅に向けた対策が急務である。

行けるよう警察へ要望していく。

教育長

子供たちが中心となり、安全意識やルールを守る取り組みを自らやっていくような方向に持っていきたい。

交通安全対策をどのように計画していくのか。

農林建設課長

制限速度や、歩道を自転車を通

岡本 雅道 議員



インフラ整備等のビジョンは

町長／ビジョンは持っていない

問

①里庄の発展を考えたとき里庄駅はどうあるべき、という将来構想。鴨方駅のような橋上化やホームの一本化などのビジョンを持っているのか。

②具体的に数年先のビジョンを尋ねたのではない。里庄駅の将来のビジョンを問う。北からも南からも利用できる橋上駅。駅前の広場、東については、対向車が来てにもかかわらず、対向車がない3mに満たない狭い道路、西は、通学路が一部となっている。

③10数年前、消防署に救急車、消防車の通れる道、通れない道の色分けした道路地図を作ってもらい建設課に提出し道路整備を申し上げたが、その図面が一向に役立てられた形跡がない。
そのことを踏まえ生活道路整備についてのビジョンを伺いたい。

通常使うビジョンとは大きな構想だ。「門前まで救急車が来れる道づくりをしたい。」というのが私はビジョンではなからうかと思う。

④企業誘致についてのビジョンは。
⑤今回の大雨災害での被災者への支援について、倉敷市は民地でも復旧工事費の10%を市が負担するが、本町はどうか。

町長

①今年度は駅前広場及び駅構内のバリアフリー化の基本構想を策定する。エレベーターの設置やトイレの改修を考えている。
②橋上化やホームの一本化等の大きなビジョンは持っていない。
これは先々将来の課題となると思う。
③生活道路についてビジョンということだが、ビジョンの意味がどういう感覚かわからない。
④現在里庄にはすぐに立地できる土地は無い。土

地を整備しても確実に企業が立地してくれる保障もなく、慎重に進めていく。

農林建設課長 ⑤基本的に個人で修繕することになる。

農地利用調査がずさん

農業委員会会長／不慣れな委員もいた

問

①農地利用意向調査は、どのような方法で実施したか。
②全国農業会議所からの農地パトロール実施要綱では、8月ごろに調査し遊休化農地については写真を撮り記入するとなっている。

11月ごろ調査し写真も撮らない。協議もなく、委員がチェックをいれたら再確認もなく、会長名公印のもとに送付する。これは余りにずさんで



広がる耕作放棄地

農林建設課長 ①町内を12ブロックに区割りし農業委員会の12人で調査した。

農林建設課長

①耕作しているにもかかわらず調査票が送付されるなど不備があった。不慣れな委員もおり、判断基準の統一化が図れなかった。
②遊休地が放棄地かの判断が難しい。個人個人である程度ずれが出てくるので理解して欲しい。
③農業委員会全体が勉強し、意思統一を図り、レベルを上昇させ、このようないかなるようには実施したい。

③農業委員は委員になりたくて立候補した。月々のいくらかの費用も支払っている。
何のために農業委員になったのか、何のために今これをやっているのか考えて欲しい。ボランティアではない。それ相応の対応をしてもらわないと困る。
今後、個人差で誤差が生じないようにするにはどのように進めるのか。

同報系の防災行政無線を

今なら安く整備できる

町長／現在のところやるつもりはない



仁科 英麿 議員

問

6月の大雨災害、**①**地域防災計画にある災対本部の設置基準や、避難勧告等の基準は、今回の経験に照らしたとき、適正だったか。

質3割の負担でできる。今年度までだが、熊本地震で1年は延長されそう。

②避難準備情報で避難した人は、何人いたか。この情報は、災害弱者には避難を促すもの。

早く検討すれば、1千万円程でできるのでは。行政無線でもあり、分館長も手間が省ける。

③避難所の状況は。
④今回の経験を生かして、避難所の運営マニュアルを作っておくべき。

高岡、屋中の指定避難所は、鴨方町の施設も使えるように浅口市と協定を結んでおくべき。

⑤情報の伝達状況は。
今回分かった問題点は、**⑥**役場と分館の放送設備を直結する同報系の防災行政無線を整備すべき。

君賀原公会堂前の道路幅が狭過ぎて、障害者等には利用しづらいが。
⑨防災士との連携について、どう考えるか。

緊急防災減災事業債を使うと7割が交付税に算入されるので、今なら実

総務課長

①適切に対処できた。

②浜中南分館の要援護者8人中4人が避難したが、

時間は把握していない。
③食料は、弁当等を配布。衣類や寝具等は、避難者が持参していた。町は、マットやござ、備蓄品の毛布等を持ち込んだ。

④必要なら検討したい。
⑤分館長へ分館放送を依頼し、ラジオやテレビでも避難情報を伝達した。

平常時からの訓練、夜間対応の見直しが必要。

⑥多大なコストを要するため、検討していない。
⑦浅口市と協議したい。

⑧拡幅は考えていない。
⑨町防災訓練への参画といった連携も模索する。

⑥現在のところやるつもりはない。

町長

現在のところやるつもりはない。

イノシシなどの対策を強化せよ

農林建設課参事／猟友会の人達と協議しながら進めたい

問

①イノシシ、カラスなどの町内の生息数は。

イノシシの出没地域が広がっている。

昨年12月以降どのような対策を講じたか。

今後どう強化する考えか。

③有害鳥獣の駆除を効果的に進めるには、次のように、猟友会の人達の活動環境を整えることが大切では。

①捕獲許可期間を延長し、狩猟期間と切れ目がないようにする。
②捕獲補助金を上げる。
③県の補助を活用する。
④被害防止計画を充実し、実施隊を編成する。

⑤檻やわなの設置、無線連絡の仕組み、電波関係法のこと等、施策を全般的、総合的に検討するため、関係者による協議会を設置する。

又キ60〜90頭、カラス300羽程度と推計している。

②檻を購入、設置したが、捕獲はできなかった。くくりわなは16基設置し、6頭捕獲した。

捕獲者を増やし、また、檻の設置場所を考える。

③①今後はできるだけ、そうしたい。

②イノシシとタヌキは平成27年度から上げており、今は様子見の状態。
③今年度はできないが、来年度から要望する。

④猟友会の人達と協議しながら、進めていきたい。
⑤猟友会を中心に、県等とも協議し、構築したい。

その他の質問

Q 優秀な職員採用の方策は

Q 非正規職員等の採用の公正・公平性の確保は

Q 人事異動の方針は

Q 管理職の時間外体制は

農林建設課参事 **①**イノシシ20〜ア150〜170頭、タ

仁科千鶴子 議員



里庄初の避難勧告、 問題点はなかったか

総務課長／反省を改善につなげていく

問

6月24日、10時に避難準備情報

11時50分に浜南分館に里庄初の避難勧告が発令された。

①避難準備、避難箇所、施設について問題点はなかったか。

行政の人員配分はよかったか。

②発令を防災行政無線で同時に伝えれば全然違う。危ないときは音を変える等により危険性を伝えることが必要だ。

計画があるか。

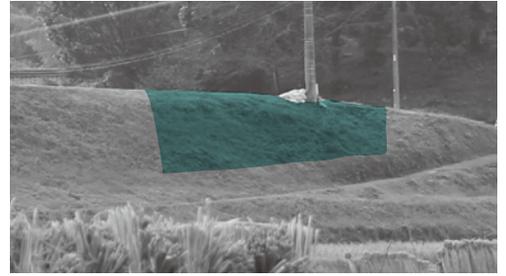
③分館に対する要望は。

④皿池大池の堤防に亀裂が入った。

今後どのようなのか。

⑤町道の改修は、里庄の業者だけでは数が足りないという話を聞くが、今後の計画は。

町道だから全部入札になるのか。



ブルーシートで養生していた皿池

総務課長

①避難場所を3カ所設置した。

各避難所へ2名ずつ職員を配置、避難者の増加等に応じて適宜職員を増加した。

仁科会館には、泊まることになり、夜は5名の職員を配置した。

受け入れ準備は、健康師による血圧測定、健康体調管理の実施、車椅子の配置、床に敷くためのマット、ござ、段ボール

ベッドの提供など、迅速な対応ができた。

今回の教訓を記録に残し、今後の避難訓練の実施にも生かしていきたい。

浜中南地区にだけ限っていたからできた。いい勉強になった。反省をまた改善につなげていく。

②ハード面はお金がかか

る。

③自主防災組織の編成、防災訓練の実施等を、地域でやってもらいたい。

農林建設課長

④県営のため池等整備事業として、平成30年度は測量設計、平成31年度の秋口からは工事、平成33年度までに完成する予定である。

問題等がそれまでに発生したら、適宜補修をし、対応していく。

通常は、水をほとんどためない状態を保ち、上流にある2つの池の水を使って稲作をする。

水はいくらかはたまつた状態に保ち、水位は上がらない形にする。

⑤今年度改修を予定している箇所は、応急対応を済ませた箇所を除き、約40カ所ある。

国の補助事業や一般単

独の起債事業として災害復旧する10カ所を最優先に、残りの30カ所も年度内に復旧したい。

地元の業者だけではできない。規模の大きな業者を選定、工期を長くするなど工夫し、年度内の復旧を目指し努力する。

起債事業として災害復旧をする箇所は、基本的には入札していく。

あとの30カ所は随意契約でやっていく。

約でやっていく。

町長

④決壊するとか、そういう問題ではない。安全をとって今回避難勧告を出した。

心配されるのは当然と思うが、できることへの対応は、工事が少し遅れることについては、理解をお願いしたい。



安心してぜんし〜ん(かすみ保育園)

自転車の走行レーン

区別をしてはどうか

農林建設課長／安全な方法を今後検討する

問

①本来自転車は原則左側通行。対自動車の事故に加え、歩行者との事故もふえている。

幅のある道路は、可能な限り走行レーンを区別してはどうか。

②福山通運の東の道路。国道と浜中団地の横断歩道の間に横断歩道をつつてはどうか。

他にも住民が生活道路として使用している所は、必要に応じ横断歩道をつくってはどうか。

農林建設課長

①2車線の道路の場合、できるところはあると思う。

両側歩道で十分自転車と歩行者がかわれる幅が

あるところは、事業主体と十分協議して、可能かどうかを含め、協議していきたいと考えている。

一番安全な方法を今後検討していきたい。

②提案のとおり設置すると、歩行者等の利便性は向上する反面、交通混雑を招いたり、歩行者等が危険といったことも考えられる。

現位置のみで問題はな

いと考えている。

地区の間を道路で分断される場合は、そのコミュニティの連絡という意味でも、横断歩道を設置したいとは考えるが、全ての交差点で設置することはできない。

誰もが参加できる 平和祈念式典にしては

総務課長／現時点では考えていない



佐藤 耕三 議員

問

平和祈念式典、戦没者の益供養を、遺族以外の町民誰もが参加できる式典にしてはどうか。

広島、長崎の平和祈念式典に中学生を派遣して報告会を行っている自治体もある。

町も検討しては。

総務課長

式典の経緯、地理的条件から、多くの町民が参加できる式典にすることは、現時点では考えていない。

中学2年生は広島への研修、中学3年生は沖縄への修学旅行を実施している。広島、長崎の平和祈念式典への中学生の派遣を検討する予定はない。

子どもからのサイン 教師の共通認識は

教育長／学校で相談し、保護者に制度を伝える

問

①子どもから生活が厳しいサインが出た時に、教師の間で共通認識として話し合いはしているか。

②教材、道具に関して、再利用とか家庭に極力負担をかけない対策は。

教育長

①子ども達の様子等を見て、明らかに困っていると分かる場合は、学校の中で相談して、保護者に制度があることを伝える場合もある。

教委事務局

②町で教材や道具を集めての再利用はしていない。学校で一定量ストックして、必要に応じて貸し出しなどは行っている。



まだまだ元気

眞野 博文 議員



人材を活用するマネジメントは重要

総務課長／人事考課制度の面談の機会に、指導・助言

問

職員が体調を崩して困るのは町民である。

人的資源を有効に活用するマネジメントは重要な意味を持つ。

①平成27年度の課ごとの1人当たりの平均時間外勤務と手当を尋ねる。

②手当の対象とならない課長、課長補佐の勤務は記録しているのか。お金を払ってないから良いという話ではない。

③時間外が増えている理由の事業とは。

④具体的な解決策は。

⑤課のことは誰が管理し、マネジメントをしているのか。

⑥一番目立つのは企画商工課。

偏るのは問題では。

⑦仕事が多く、そのキャッシュティーを越えているのなら早急に具体的な対策を。

⑧労働時間、量よりも労働の成果、質へシフトすることが大事。

人事管理の最高責任者

は町長。考えを問う。

総務課長
①次の表の通り。
(27年度、一人あたり)

	超過勤務 (時間/人)	手当 (円/人)
総務課・出納室	170	475,500
町民課	249	537,800
企画商工課	634	1,475,500
健康福祉課	65	168,300
上下水道課	82	196,600
農林建設課	78	181,200
国土調査室	199	471,000
教育委員会	142	340,000

②課長、課長補佐の勤務実態は、タイムカードで記録しチェックしている。

町民へのサービスに使命感を持ってやっているが、多くなれば問題。

③マイナンバーの関係や臨時福祉給付金、地方創生に関する業務など、国の政策で、業務量やスケジュールを予測することが難しいことも一因。

④特定事業主行動計画を策定しており、徐々にではあるが改善できている。

現在導入している人事考課制度の面談の機会に、指導・助言しながら仕事の効率化を図りたい。

⑤課のことは課長。全体のマネジメントは総務課。

副町長、町長へ報告し相談しながら進めている。

⑥企画商工課に偏るのは、イベントが多いため。少なくとも努力は必要と考えている。

⑦事務量は減らないが職員数は増えない状況の中で、良い方法はないかと模索している。

職員一同で取り組みたい。

町長

⑧職員は出張が多し、自分の仕事ができている。企画商工課は地方創生等の問題もある。だからといって職員は増やせない。

課長が意識して指導し、職員全員も共有しなければならぬ。

時間外は、効率と負担のバランスを考えるべき。

予算議決も行わず 工事をしていいのか

町長／慎重にやりたい

問

①8月17日の全職員協議会で、岩村地区の町道里見674号線の道路改良工事で、電柱の仮移設工事が必要となり、今回の補正予算で400万円計上するとの説明があった。

しかし、翌日の8月18日には仮移設工事を行っていた。これはどういうことなのか。

全員協議会で説明をすれば、予算審議も議決も行わず、工事をしてもいいのかわかる。

②専決処分の考えも聞きたい。

町長

①説明が足らず、誤解を招いたと思う。その点お詫びする。これからも慎重にやりたい。

②専決をしないと物事が滞るといった場合は、考えなければいけないが、普通の場合は、意識的に町長の権限としてやるという気はない。

副町長

②専決処分の理由は、時間的な余裕がない場合。判断は町長が行なう。

農林建設課長

①3本の電柱の仮移設が必要となったことに加え、光ファイバーケーブルが付設

地域とのふれあいを大切に

大原中子供会

大原中子供会は、保育園児から小学六年生まで、十二世帯、二十三人で活動しています。

春は歓送迎会で送迎バスに乗り、みんなで仲良く映画鑑賞に行きました。

夏はふれあいサロンが開催され、地域の方々とそうめん流しとジャンケンチャンピオン大会を行いました。手作りのそうめん流し台に、そうめんの他にミニトマトやぶどうも流れて来て、子供からお年寄りまでも盛り上がり楽しい時間を過ごしました。

秋は伝統行事の秋祭りが行われ、祭りの夕べでは、地域の方に歌と里庄音頭を披露しました。ゲームコーナーでは、くじ引き、輪投げ、千本釣り、ボールあて等、子ども達

が大好きなゲームをして賑わいました。祭り当日は、親子一緒に分館内を子供神輿で練り歩きました。そして、山神社で子供相撲をしたり、出店を楽しみました。

冬は、クリスマス会を予定しています。

去年は、公会堂でビンゴや宝探しゲームをしたり、カレーライス、フルーツポンチ、ケーキを手作りしました。

今年も盛りだくさんの会になるよう計画しています。

大原中子供会は、地域の皆様とのふれあいを大切にし、いつも感謝の気持ちを忘れず活動を続けていきたいと思っています。

これからもよろしくお願ひ致します。



《第86号》

平成28年10月31日 発行

発行/岡山県 里庄町議会

〒719-0398

岡山県浅口郡里庄町

TEL(0865)64-7217

FAX(0865)64-3618

編集/議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.okayama.jp

●あとかぎ

台風が暑さを吹き飛ばし、空を見上げればうろこ雲。

耳をすませば、虫の音がする秋が訪れました。

スポーツ、実り、そして読書の秋の日に、この議会だよりを読んで下さる皆様に感謝しております。

(仁科千)

編集委員

委員長: 小野光章 副委員長: 仁科英麿 委員: 仁科千鶴子 委員: 佐藤耕三

